

インストルメンテッド・チーム・ラーニングによる モチベーションアップ研修 ～西堀栄三郎の思想と行動を伝える～

リーダーシップが身につく、チームワーク作りの基本が理解され職場が活性化するまでフォローします。

◎ 講師

・ **菅原 修 氏**
(株)アイアンドエス
代表取締役

・ **伊藤典男 氏**
(株)アイアンドエス
顧問

●プロフィール

1959.3 東北大学工学部精密工学科卒業
1959.4.1～1983.10.30 (株)第二精工舎入社時・研究部配属、時計設計部勤務(5年)、製品企画課創設(13年)課長→部長、研究管理室創設、特許開発部部長、電子情報機器事業部・CAD/CAM営業部(4年)・部長、大阪営業所・所長(3年)、S販売部創設(3年)部長、HD部(ヒューマン・デベロップ)(現場技能者をきめ技術者の海外をはじめ他部門への移籍の準備を担当)部創設(3年)部長。(定年6か月前退社)。
(新設部門の創設多く、異質の人材を組み合わせた新たな分野開拓を多く経験。その間、西堀栄三郎博士主幹の「新製品開発教室」へ24年間在籍し、開発の極意を学ぶ)。
1993.11.1～2008.9.30 (株)マスターエンジニアリング営業部長、メカトロ事業部創設(主に半導体製造装置、産業機器分野)、常務取締役(大証2部上場、後年東京2部上場に貢献)
2008.9.1～現在 (株)アイアンドエス代表取締役(「モチベーション研修」=西堀栄三郎博士の思想を若き後輩に伝える活動)起業。

●プロフィール

1962.3 名古屋大学工学部機械科卒業
1962.4.1～1978.3.31 住友重機工業株式会社建機事業部設計課設計担当
1978.4.1～1983.3.31 住友重機工業株式会社建機事業部千重工場技術課長
1983.4.1～1990.12.31 住友重機工業株式会社(住友建機)株式会社サービス部長・部品部長
1991.1.1～1995.9.30 米国LBC社(Link-Belt Construction Equipment Co.Ltd.)副社長
1995.10.1～1999.6.30 中道機械産業株式会社営業本部副部長
1999.7.1～2000.12.31 住友重機株式会社営業企画部主管
2001.4.23～2008.3.31 (株)マスターエンジニアリングISO・品質保証室室長または担当部長 (ISOの推進と品質管理関係「モチベーション研修含む」の教育を担当)
2008.9.1～現在 (株)アイアンドエス顧問(「モチベーション研修」の推進と各種社員教育推進)

◎ 日時

平成26年3月18日 (火)
10:00～18:00
1日集中講座

◎ 会場

新技術開発センター研修室
東京都千代田区一番町17の2 一番町ビル3F
TEL 03 (5276) 9033
地下鉄半蔵門線 半蔵門駅徒歩2分
(受講券に地図を添付いたします)
※録音・録画はご遠慮下さい。

◎ 受講料

25,000円 (消費税込)
(テキストおよび昼食を含みます。)

受講のおすすめ

- 特徴
 - 日本の品質管理のバイオニアの一人である西堀栄三郎博士の個性(意志と感性)に意欲振起の極意を学ぶ
 - 同じく品質管理の指導者の一人である近藤良夫博士の品質管理における人の問題の研究結果をバックに置く
 - 教育方法として意欲を振起するにふさわしいTL (Instrumented Team Learning) 方式を採用している
- 注: インストルメンテッド・チーム・ラーニングとは
 - 研修参加者の自主性、自発性を引き出すため、講師は、モチベーションはかくあるべしという結論を強制しない
 - 研修参加者に、自分たちの考えや、経験を自由に話し合いをさせ、考えさせ、自ら結論を得るように誘導する
 - ただし、話し合いが勝手気ままに進行し、本題から脱線しないように「テキスト」、「ワークシート」、「資料」などの教材を用意し、話し合いと考え方に方向を示し、誘導する
- モチベーション研修の効果測定方法
 - 感想文による判定
研修終了時に受講者全員に感想文を書いてもらい、その内容により判定(講師のコメントを付け3日以内に返却)
 - 活性化度5項目の理解度調査による判定
受講前後にアンケート調査を行い、活性化度5項目の理解度の変化をリーダーチャートで表示(解説をつけて1週間以内に返却)
 - 受講者に対する受講後の個別フォロー(不定期)
- 感想文やフォローアップ研修からみたモチベーション研修の効果
 - リーダーとしての基本が身につく
 - QCの基本であるPDCAの回し方が理解できるようになり、ISOマネジメントシステムの構築に有利
 - チームワーク作りの基本が理解され職場の活性化につながる
 - 「西堀流責任の負い方」が理解され、事が起きないよう全力を尽くすという組織風土が定着する
 - 研修の効果が長時間にわたって持続(ザイガルニク効果)
 - 職場で西堀ファンが増大

- 西堀語録が参加者社員の共通語になりつつある
- 研修がスムーズに受け入れられる理由
 - 研修の構成が一方的な講義の押し付けでなく、自らが参画するグループディスカッション方式である
 - 常に緊張感が持続できる形式であるため、退屈しないし、次に何が出てくるか期待できる
 - 「意識集中の演習」とか「情報伝達ゲーム」といった「遊び心」のある課題があり、楽しみながら研修できる
 - モチベーションの3要素(プロジェクトの達成、チームワークの形成、やる気の振起)が順序よく体験できるため、知らず知らずのうちに大切な要領を学べる
 - 西堀博士の考え方は、単に仕事面だけでなく、人生のいろいろな場面で参考となるものである
- 注: 受講者にとって印象が持続するか否かはフォロー次第、また組織全員が受講することで効果が増す

◎西堀栄三郎とは

40歳より若い人たちは、ほとんど西堀さんを知らない。
第三高等学校一年生の時、アインシュタイン博士夫妻を奈良・京都を案内。博士は「相対性理論」でノーベル賞・受賞直後だ。博士から学んだことはあらゆるものに対する探究心。その探究心に燃える真摯な態度に感動。
京都大学で物理学を学び、東芝で真空管「ソラ」を発明。戦後GHQから最初にQCを学ぶ日本初の「経堂コンサルタンツ」。デミング博士来日に同行し全国各地の工場を品質管理指導でまわる。中学時代から山に親しみ山は創意工夫の実験場となる。
南極地域観測隊第一次越冬隊長として異質の人材11名で越冬。帰国して日本の将来に最も大切なことは新製品開発と「新製品開発教室」を開講。24年間で延べ1800余名が参加。一方日本のエネルギーの将来を見定め、日本原子力研究所理事、日本原子力船開発事業団理事を歴任。その間世界の未踏峰・崖破の隊長。世界最高峰ヤルン・カン2隊同時登頂にも成功。
常に人のやらないことに最初に挑戦。1989年死去、享年86歳。

くわしい内容は裏面をご覧ください



主催 / **株式会社 新技術開発センター** - **TECHNO CONSULTANTS INC.**

〒102-0082 東京都千代田区一番町17の2 一番町ビル3F

■お申し込み・お問い合わせ・宛先変更は

TEL 03(5276)9033

FAX 03(5276)9034

E-mail service@techno-con.co.jp

商品別からも、情報テーマ別からも検索できます!

Home Page <http://www.techno-con.co.jp>

ビジネスホットニュースはこちらまで!! 無料!!
<http://www.techno-con.co.jp/business/>

技術士ホットニュースはこちらまで!! 無料!!
<http://www.techno-con.co.jp/gijutusi/>

セミナープログラム

1. 西堀栄三郎の思想とは
2. 自己を変革し、動機付けし、自己啓発する3つの柱と7つ道具
 - 1) プロジェクト(仕事)を達成する:「目標達成」
 - ①プロジェクトをやると決心する
 - ②やりとげなければならぬという切迫感をもつ
 - ③必ず成功すると肯定的に考える
 - ④徹底的に調査し、準備する
 - ⑤やり方は、知恵を出して自由に決める
 - ⑥思いもよらぬことは、起こると考える
 - ⑦反省し、禍転じて福とする
 - 2) チームワークを形成する:「参画協働」
 - ①全員が共同の目的をもつ
 - ②役割を分担し、使命感をもつ

- ③異質がお互いを尊重し、協力する
- ④他人を完全な人間と思わない
- ⑤愛情をもって鼓動する
- ⑥リーチング・アウトする
- ⑦競争でなく競走する
- 3) やる気を起こさせる:「士気高揚」
 - ①メンバーの個性を長所としてとらえる
 - ②メンバーのいうことを傾聴する
 - ③目的(目標)を明確にする
 - ④メンバーにチャンスを与える
 - ⑤メンバーを励ます
 - ⑥メンバーを公平に扱う
 - ⑦ことが起こる前に責任を果たす

3. 感想文の作成(講師のコメントをつけて3日以内に返却)

◎ 質疑応答

■お申し込み・お問い合わせ先

〒102-0082 東京都千代田区一番町17の2 一番町ビル3F TEL 03 (5276) 9033

FAX 03 (5276) 9034でお申込みを!!

E-mail service@techno-con.co.jp
HomePage <http://www.techno-con.co.jp>

■お申し込み方法・お支払い方法

○お申込みの際は、日時・会場・セミナープログラム等をよくご確認下さい。
○下の受講申込書各項目にご記入のうえ、当センター宛 FAX 03 (5276) 9034 でお送り下さい。すぐ確認のお電話を入れてさせていただきます。
○ホームページ、E-mail、お電話によるお申込みの場合は、受講申込書の各必要事項をできるだけ明確にお知らせ下さい。
○お申込み受付後、受講証・会場地図・ご請求書をお送り致します。
○ご請求書到着後、すみやかに、次のいずれかの方法でお支払い下さい。1: 郵便振込 00140-1-408865 (株)新技術開発センター 2: 銀行振込・ジャパンネット銀行 すすめ支店(普)4722744 ・みずほ銀行 新宿中央(普)1752084 ・三井住友銀行 新宿(普)1385277 ・三菱東京UFJ銀行 新宿通(普)0395582
●お客様の都合によるキャンセルはお受けできません。

◎役職コード欄には役職コード番号をご記入下さい。
※区分番号には必ず○を1つおつけ下さい。

☆17732-「インストルメントド・チーム・ラーニングによるモチベーションアップ研修～西堀栄三郎の思想と行動を伝える～」

受講者	ふりがな	1: 男 2: 女	年齢	◎役職コード	◎役職コード	※事業所区分	※事業所規模区分	
	氏名		歳		1 一般職 2 主任・係長職 3 課長職 4 次長・部長職 5 工場長 6 経営者・役員 7 監査役	1 本社・本店 2 本社工場 3 工場 4 研究所 5 支社・支店 6 営業所 7 研修所	1 50人以下 2 51~100人 3 101~300人 4 301~500人 5 501~1,000人 6 1,001~5,000人 7 5,001人以上	
	会社名							
	所在地(〒)							
	事業所名・事業本部名	※業 種 区 分						
	所属名(部・課名)	1 農林・水産 8 窯業・土石 15 サービス 2 鉱業・エネルギー 9 金属・金属製品 16 交通・輸送 3 建設・関連資材 10 機械製造 17 商業・流通 4 食品 11 電気・電子・情報機器製造 18 金融・保険 5 繊維 12 輸送用機器 19 専門事務所 6 紙・パルプ 13 その他製造 20 教育・学校・病院 7 化学・ゴム 14 情報・通信(ソフト) 21 書店・取次店						
	TEL	FAX	※職 種 区 分					
	携帯TEL	1 設計 7 研究・開発・企画 13 情報システム 2 工場経営 8 特許・技術管理 14 環境 3 製造・生産技術 9 営業・マーケティング 15 海外企画 4 品質管理・品質保証 10 総務・人事 16 労働・安全・衛生 5 資材・購買・調達 11 経営管理・経営企画 17 経理・財務 6 物流・倉庫 12 図書室・資料室 18 教育・研修						
	Eメールアドレス							
	受講者 所属長	氏名	1: 男 2: 女	◎役職コード				
教育 担当者	所属名	氏名	1: 男 2: 女	◎役職コード	通信欄			

◎お二人以上でお申込みの方は、別紙にご氏名・ご住所等お書きの上、申込書といっしょにお送り下さい。
※ご記入いただいた宛先に、事務連絡やお役に立つ情報などを、当社・グループ会社・提携会社などから
お送りさせていただきます。

26.3.18(25,000)